

TOTO

洗面化粧台

LDLA075・090・100・120型

商品の機能が十分に発揮されるように、この組立・設置説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

1) 安全上のご注意

- 取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
 - この説明書では、商品を安全に正しく取り付けていただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。
- 使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表示	意味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	 は、してはいけない「禁止」内容です。		 は、必ず実行していただく「強制」内容です。
---	--	---	---

- 取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取り付け完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

 **警告**

浴室など湿気の多い場所へ設置しない
漏電により感電するおそれがあります。

 禁止





水道・電気工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者・指定業者」が行う
火災や感電および水漏れの原因になります。

 必ず実行

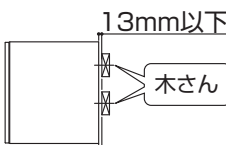
 **警告**

電源はAC100Vを使用する
AC100V以外を使用すると過電流による火災の原因になります。

 AC 100Vのみ!

壁固定用ねじ取り付け位置に木さんを入れて補強する
キャビネットが転倒しけがをするおそれがあります。

 必ず実行

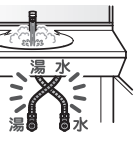
 13mm以下
木さん

 **注意**

湯・水を逆に配管しない
水側でいきなり湯が出て、やけどをするおそれがあります。

 禁止

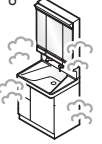


 湯 水

浴室など湿気の多い場所へ設置しない
木部の膨潤、変形などによりキャビネットが外れてけがをするおそれがあります。

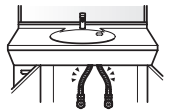
 禁止





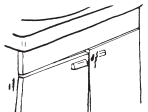
凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行う
凍結破損で水漏れし家財などに損害を与える原因になります。

 必ず実行



取り付け完了後、キャビネットの固定・扉の傾きがたつき・丁番のゆるみがないかを必ず確認する
使用中にキャビネット・扉が落下してけがをするおそれがあります。

 必ず実行



取り付け完了後、給排水管から水漏れがないかを必ず確認する
水漏れを起こすと、家財などに損害を与える原因になります。

 必ず実行

2) 設置寸法

- 特注品の場合の設置寸法は、商品図を確認してください。
- 壁排水トラップは付属していませんので、必要な場合は別売品のL0159をご購入ください。
- 止水栓は付属していませんので、必要な場合は下記品番の別売品をご購入ください。

【水栓の種類】

【壁給水の止水栓品番】

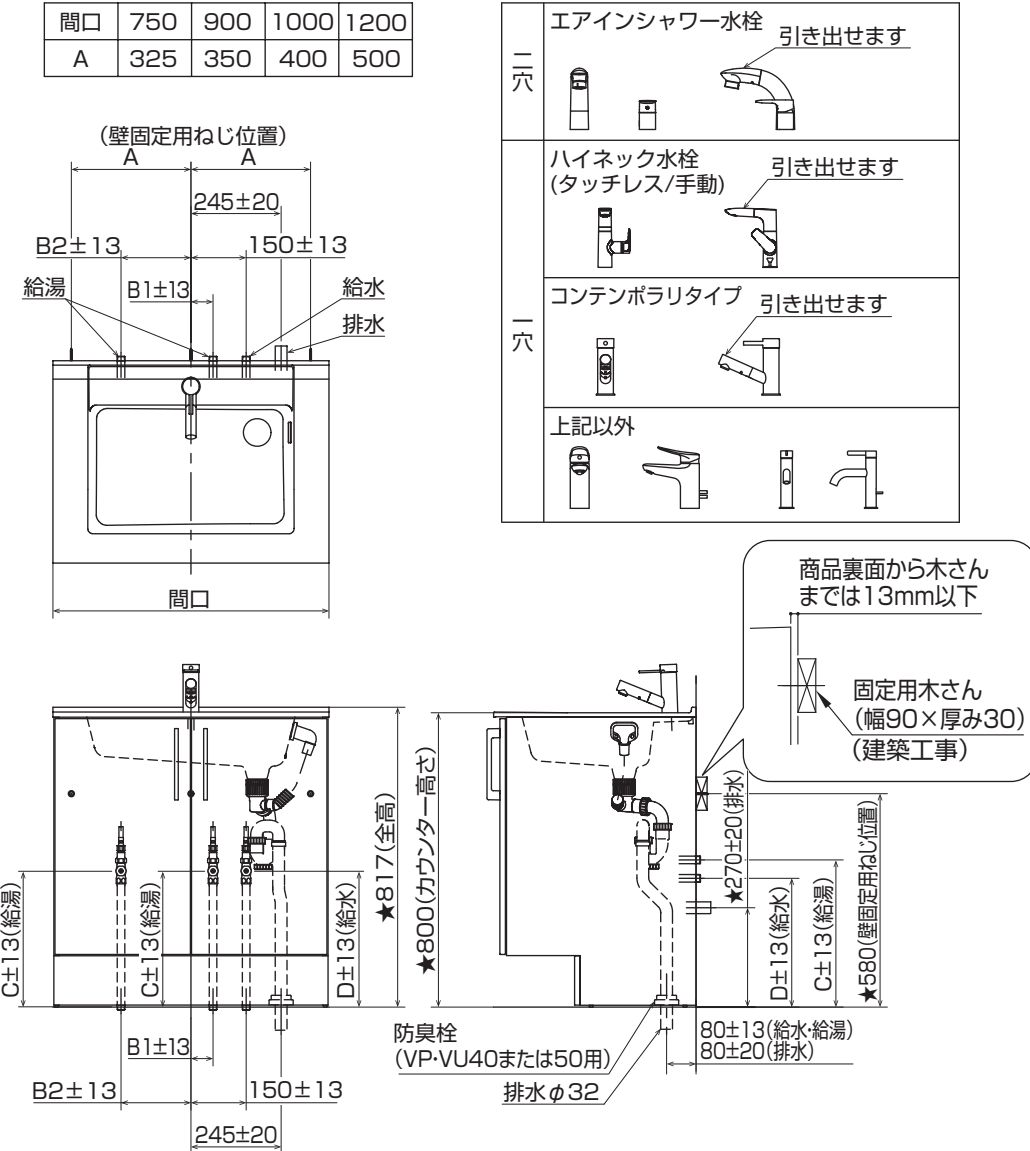
【樹脂配管の品番】

止水栓品番	数量
LTL524CD6U	2個

樹脂配管品番	数量
TSAS4BJZA	2個

【床給水の止水栓品番】

水栓種類		「きれい除菌水」	止水栓品番			数量
			カウンター高さ	750	800	
二 穴	エアインシャワー水栓	なし	給湯・給水	LT4BD17U	LT4BD7U	各1個
		あり	給湯	LT4BD17U	LT4BD7U	2個
			給水	LT4BD16U	LT4BD17U	
一 穴	ハイネック水栓	タッチレス	給湯・給水	LT4BD16U	LT4BD17U	2個
		手動	給湯	LT4BD17U	LT4BD7U	各1個
			給水	LT4BD7U	LT4BD12U	
		あり	給湯・給水	LT4BD17U	LT4BD7U	2個
	上記以外	なし	給湯・給水	LT4BD7U	LT4BD12U	各1個
		あり	給湯	LT4BD7U	LT4BD12U	
			給水	LT4BD17U	LT4BD7U	2個



※止水栓接続はR1/2となります。
※★印はカウンター高さ800mmの場合です。750mmの場合は★印寸法に-50mmにしてください。

3 付属部品明細

	名 称	数 量		名 称	数 量
1	排水トラップ	1セット	5	防臭栓	1個
2	Lパイプ	1セット	6	壁固定用ねじ (φ5.2×55)	3本
3	給水ふた	2個	7	化粧キャップ	3個
4	排水ふた	1個	8	底板固定用ねじ (φ3.5×12)	750・900 4本 1000・1200 6本
				取扱説明書 セット	1セット

4 使用条件

- 水栓金具・機器類などの使用条件は専用の施工説明書をご参照ください。

5 取り付け条件

- 洗面化粧台を取り付ける床面、壁面はクロス貼りなどの仕上げを施してください。
特に壁面については耐水壁、耐水クロスにて仕上げてください。

⚠ 警告



- キャビネットの壁固定部分には、設置壁の裏面に固定用木さんを入れる
- 木さんを使用せず、下地材を合板とする場合は、設置壁の全面に厚み12mm以上のJAS規格品の合板を強固に取り付ける(建築工事)

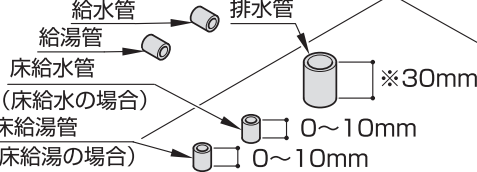
- コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじにあったプラグ(引抜き強度:1,000N以上/本)を打ち込む
- プラグは壁固定用ねじに合わせて現場にて準備する
※プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。

商品が落下し、けがをするおそれがあります。

- 三方壁に設置する場合は、商品開口に対して5mm以上のクリアランスを確保してください。
更に、ドア枠、額縁、幅木のチリを考慮してから壁仕上げ寸法を決めてください。
- 給水管を所定の位置に取り出してください。
- 器具を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
- 排水管を所定の位置に仕上げ面より下記要領で立上げてください。
(排水管はVU40・VU50または、VP40・VP50をご使用ください。)

※排水管と仕上げ面の取り出し穴にすき間がある場合は、シリコンシーラ剤でシールしてください。

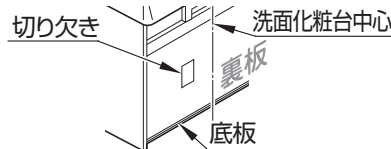
※電気温水器をセットする場合は、80mmで立ち上げてください。



確認3 「きれい除菌水」生成器・魔法びん電気即湯器を取り付けますか？

→ 取り付ける場合は、裏板を切り欠いてください。

- ※壁付コンセントの位置を確認した後、コンセントと裏板の切り欠きが合うように裏板を切り欠いてください。
- ※魔法びん電気即湯器の場合は、アースターミナル付コンセントが必要です。



→ 取り付け要領を確認してください。

※取り付け要領は各商品に付属の施工説明書をご参照ください。

7 取り付け手順(番号順に取り付けてください。)

- 下部に取り付けてある転倒防止材はキャビネットを固定するまで外さないでください。
- 化粧台をひきずらないでください。

1 キャビネットの扉・引き出しを外す

- 外した扉・引き出しは傷がつかないように養生等をして保管ください。
- 取り付け完了後、元に戻してください。
(扉・引き出しの取り外しかた・取り付けかたは、9)取り付け完了後の確認と清掃をご参照ください。)

2 給・排水穴の穴あけ

- 給水・給湯・排水の位置に合わせて化粧台に給水、給湯穴(φ30~50×2カ所)、排水穴(φ50)を穴あけしてください。

〈注意〉

底板端部など、開口まわりに10mm以上の残り代を必ず確保してください。
底板が破損するおそれがあります。



3 水栓の取り付け

- 水栓の取り付けは、化粧台を壁固定する前に行ってください。
- ※取り付けについては、水栓金具の施工説明書をご参照ください。

【「きれい除菌水」生成器をセットする場合】

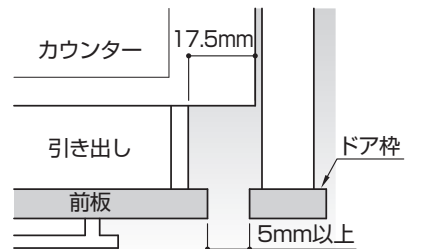
- 「きれい除菌水」生成器を取り付けてください。
- ※取り付けについては、「きれい除菌水」生成器の施工説明書をご参照ください。

6 洗面化粧台を取り付ける前に

確認1 洗面化粧台はドア枠対応が必要ですか？

→ 【ドア枠対応用の洗面化粧台の場合】 右図の位置に設置してください。

※両側がドア枠の場合は、ドア枠対応していない側にエンドパネルを取り付けてください。

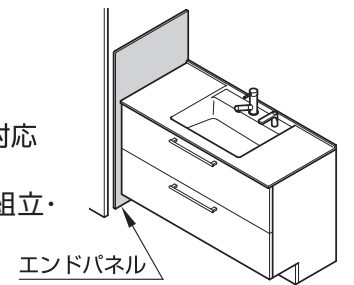


【上面図】※引き出しの前板とドア枠との間は5mm以上の間隔をあけて設置してください。

→ 【エンドパネルの場合】 エンドパネル(L0160)をご購入ください。

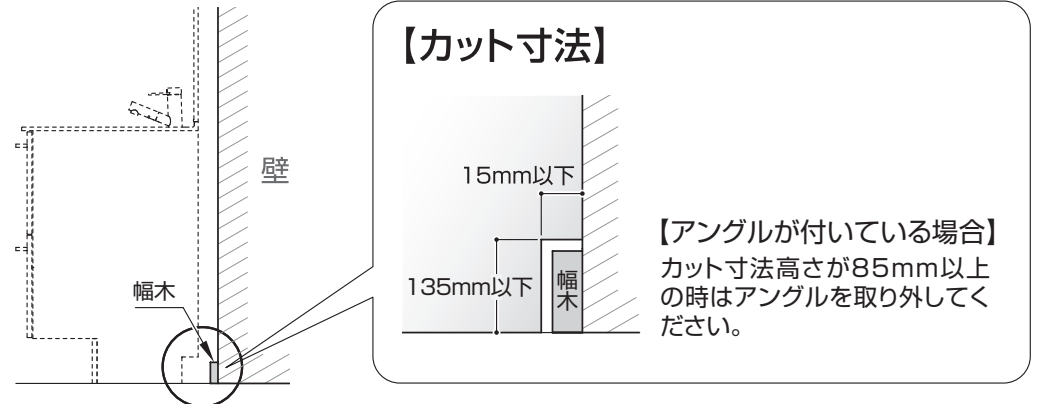
※ドア枠の出しろは壁から15mmまで対応可能です。

※取り付けについては、エンドパネルの組立・設置説明書をご参照ください。



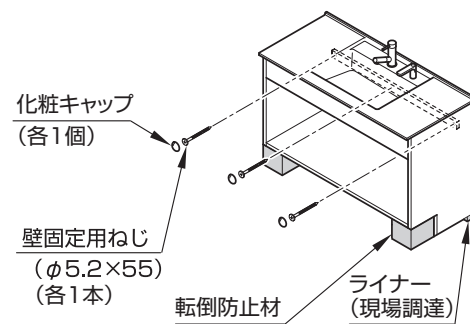
確認2 壁に幅木はありますか？

→ 壁に幅木があり、洗面化粧台をそのまま設置できない場合、下記寸法以下であれば洗面化粧台後部をカットできます。



4 化粧台の取り付け

- 裏板に開いたφ6の目印を目安に付属の壁固定用ねじ(3本)で壁に確実に固定し、化粧キャップを取り付けてください。
- 転倒防止材を外してください。
- ※商品は水平・垂直に取り付けてください。
(床・壁面にゆがみがある場合は、ライナー(現場調達)を入れて調整してください。)
(カウンター前面には、水返し勾配がついていますので、水平出しの際はご注意ください。)

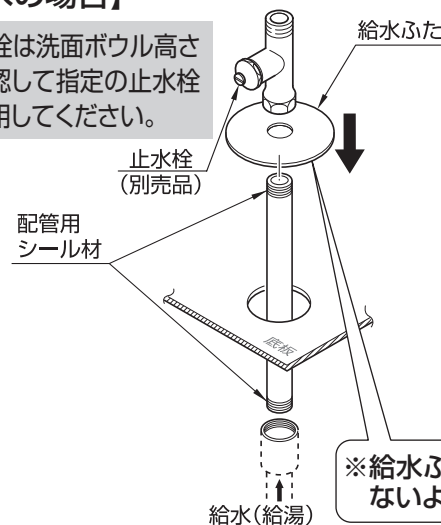


5 止水栓の取り付け

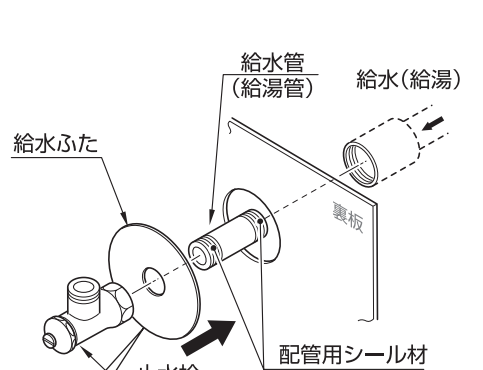
- 止水栓は工具で確実に締め付けてください。
- 樹脂配管対応はTSAS4BJZAに付属の施工説明書をご参照ください。

【床給水の場合】

※止水栓は洗面ボウル高さを確認して指定の止水栓を使用してください。



【壁給水の場合】



※給水ふたは、底板および裏板とのすき間がないように確実に押さえつけてください。

7) 取り付け手順(つづき)

6 水栓金具の給水・給湯接続

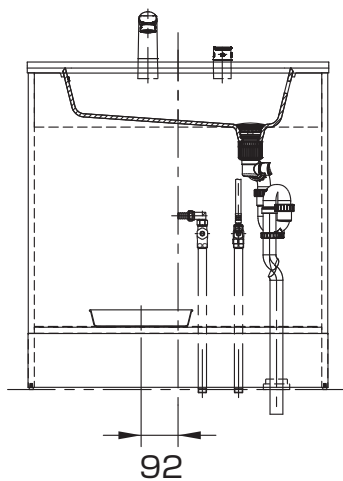
- 給水・給湯の接続は、水栓金具に付属の施工説明書に従い接続してください。
- 【「きれい除菌水」生成器をセットする場合】
- 給水の接続は、「きれい除菌水」生成器に付属の施工説明書に従い接続してください。

7 水受けトレイの取り付け

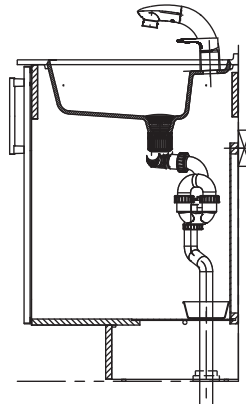
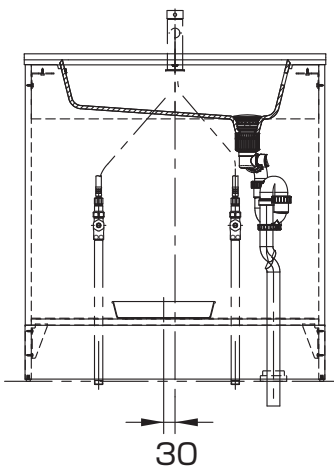
【ホース引き出し式水栓の場合】

- 取り付けについては、水栓金具の施工説明書をご参照ください。

【右記以外の場合】



【コンテンポラリタイプの場合】

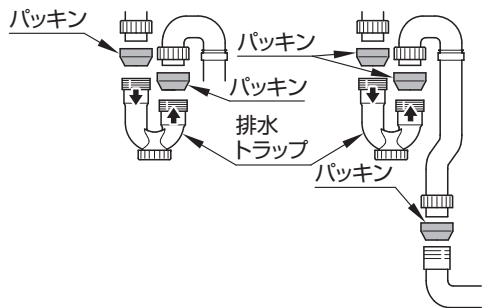


8 排水トラップの取り付け

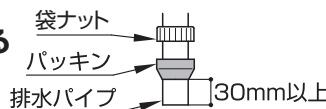
⚠ 注意



必ず実行

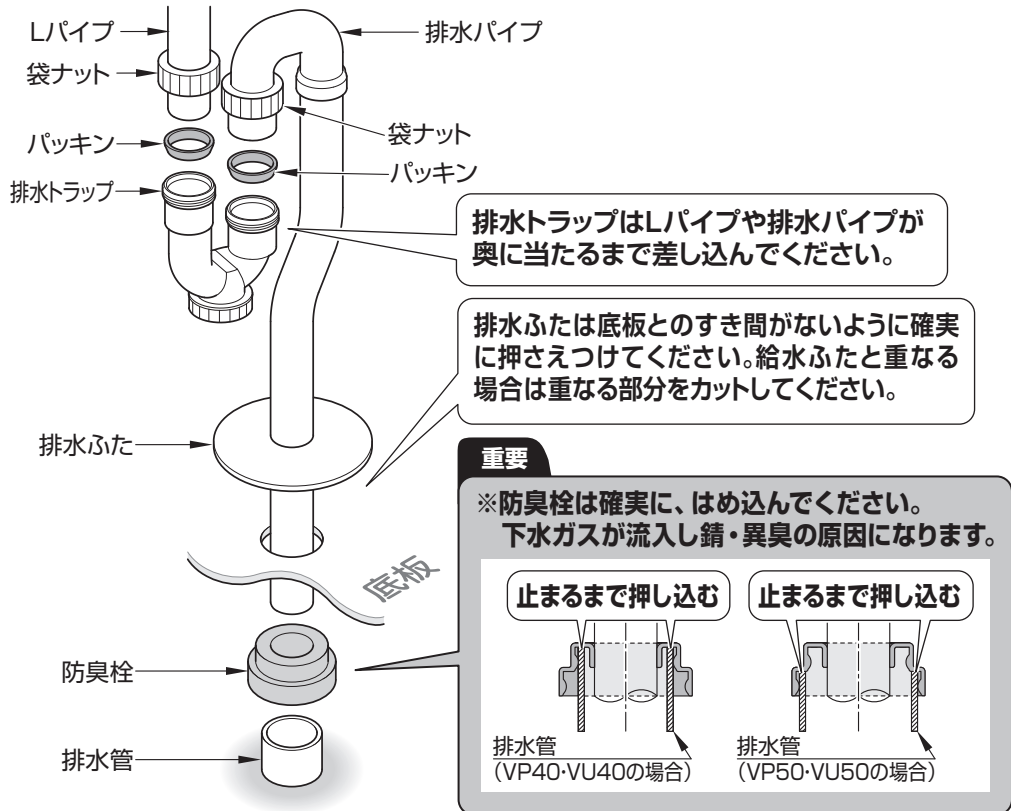


- 排水トラップの矢印マークと排水の流れる方向を合わせる
- パッキンの方向に注意する
- パッキンは右図の位置に取り付ける

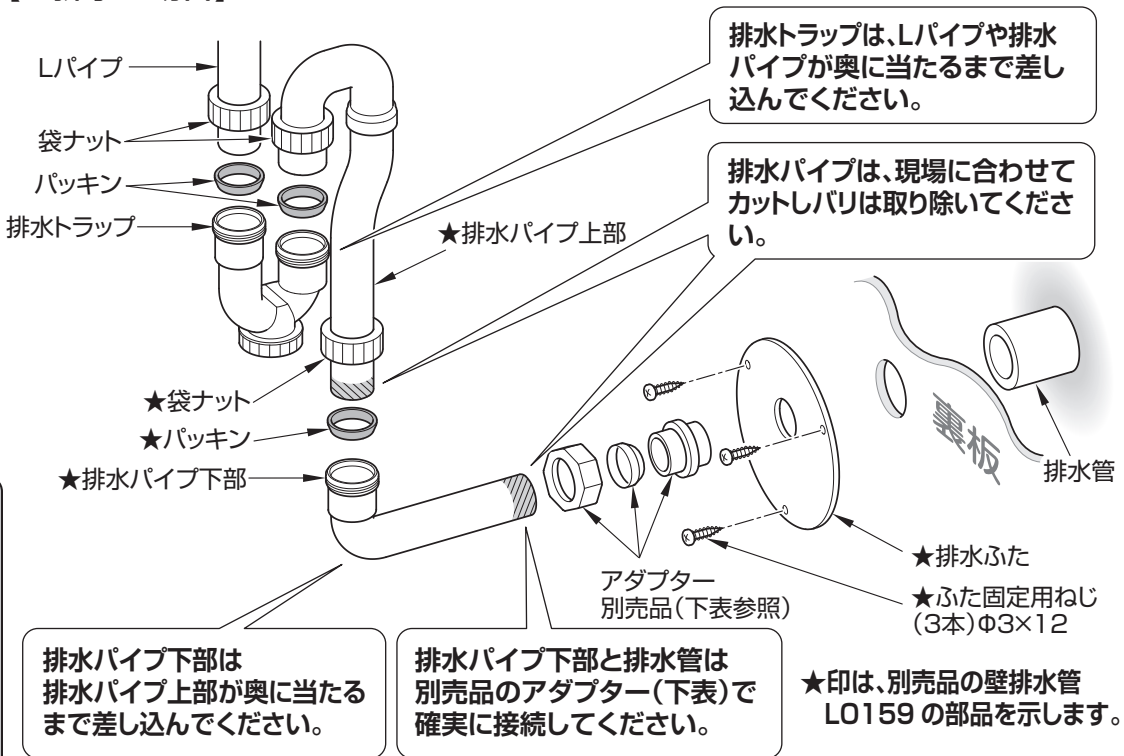


- 袋ナットは工具を使用せず、手で確実に締め付ける
水漏れし、家財などに損害を与える原因になります。

【床排水の場合】



【壁排水の場合】



- 排水トラップが下図の範囲に納まっているか確認してください。

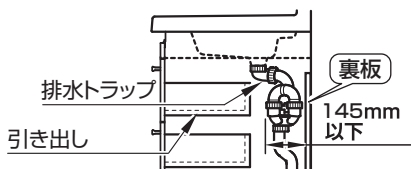
⚠ 注意



必ず実行

排水トラップを下図の範囲に設置し、引き出しが当たらないか確認する

水漏れし、家財などに損害を与える原因になります。

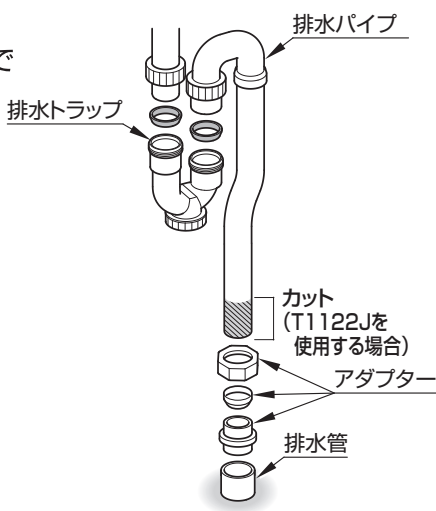


- 集合住宅・高層住宅の場合、排水管と排水パイプを別売のアダプター (下表) で確実に接合してください。

排水管サイズ	アダプターの種類
R1 1/4	T1122R (鋼管用)
30用	T1122J (塩ビ管用)
40用	LO48 (塩ビ管用)
50用	LO49 (塩ビ管用)

※上記品番はアダプター・パッキン・ナットのセット品番です。

※T1122Jを使用する場合、排水パイプをアダプターの奥まで差し込めるように下端のカットしてください。



⚠ 注意



必ず実行

接着剤は必ず、アダプターと排水管の両方に塗布する

片側のみ塗布した場合、水漏れし、家財などに損害を与える原因になります。

8) 壁やトールキャビネットとの処理方法

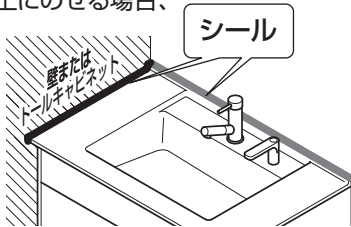
- カウンターと壁またはトールキャビネットの突き合わせ部をシリコン系シール材(現場調達)でシールしてください。
※バックパネルなど、シールパッキンの付いた部材をカウンター上にのせる場合、正面部はシリコン系シール材不要です。

⚠ 注意



必ずシールをする

シールをしないと突き合わせ部から水が浸入し、必ず実行 キャビネットや壁・床を傷める場合があります。



9) 取り付け完了後の確認と清掃

⚠ 注意



扉と引き出しの調整は電動工具を使わないで、ハンドドライバーを使用して必ず手回しで行う

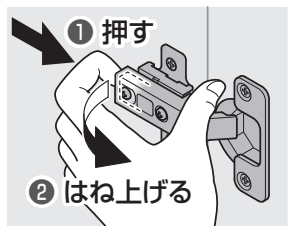
必ず実行 破損の原因となり、使用中に落下してけがをするおそれがあります。

重要

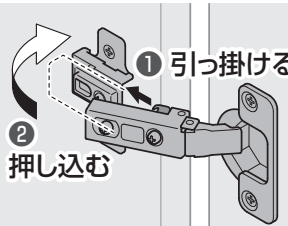
扉取り付け後は、扉と扉の左・右・上・下のすき間が均等、扉表面が面一となる様に調整する

〈開き扉の場合〉

【取り外し】



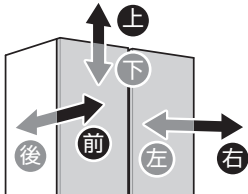
【取り付け】



【調整方法】

〈前後調整〉

調整ねじを回して調整



〈上下調整〉

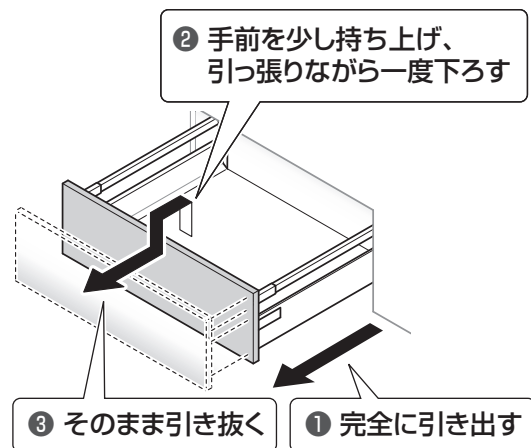
調整ねじをゆるめて両手で支えながら調整し、調整後ねじを締める

〈左右調整〉

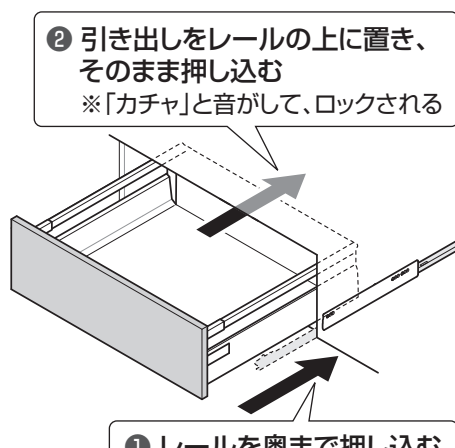
調整ねじを回して調整
※回し過ぎに注意
(ねじが脱落(破損)し、調整できなくなります。)

〈2段引き出しの場合(つづき)〉

【取り外し】



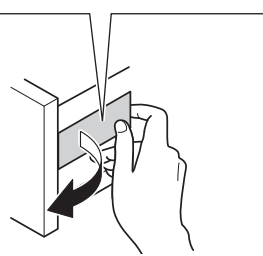
【取り付け】



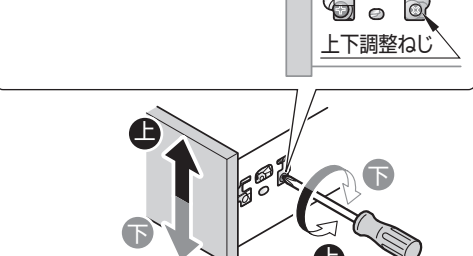
〈2段引き出し前板の調整のしかた〉

〈上下調整〉

① 引き出し側面のキャップを取り外す

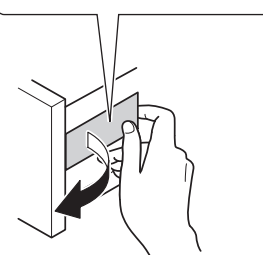


② 上下調節ねじを回して調整する

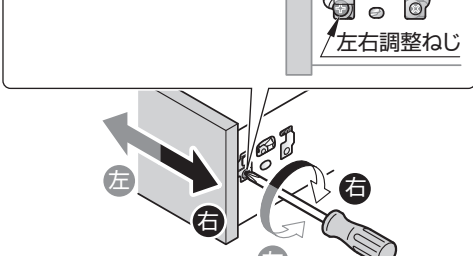


〈左右調整〉

① 引き出し側面のキャップを取り外す

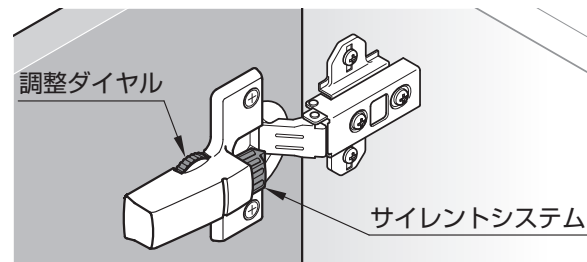


② 左右調節ねじを回して調整する



〈扉を閉じるときのスピード調整のしかた〉

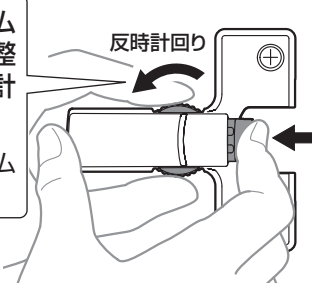
※上側の丁番のみ



【速く閉める】

サイレントシステムを押しながら調整ダイヤルを反時計回りに回す

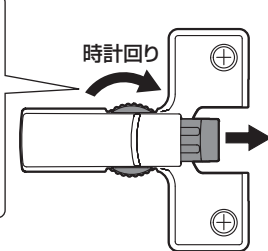
※サイレントシステムが縮みます。



【遅く閉める】

サイレントシステムを押さずに調整ダイヤルを時計回りに回す

※サイレントシステムが伸びます。



※本図は左扉の調整方法を示します。右扉でも回す方向は変わりません。

⚠ 注意



丁番調整後、上下調整ねじをしっかりと締め付けてゆるみのないことを確認する

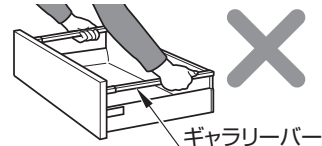
必ず実行 扉が落下してけがをするおそれがあります。

〈2段引き出しの場合〉

⚠ 注意



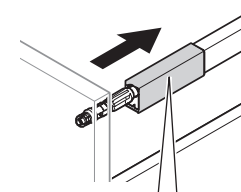
ギャラリバー部分を持たない
ギャラリバーが外れて引き出しが落下し、けがをするおそれがあります。



引き出し取り付け後は必ず引き出しを2～3回最後まで押し込み、引き出しを引き出した状態で扉を下に押ししても引き出しの背板が持ち上がらないことを確認する

必ず実行 正確に取り付けられていないと、使用中に引き出しが外れてけがをするおそれがあります。

〈傾き調整〉



① カバーキャップをキャビネット奥行き方向にスライドさせる



② 中の部品を回転させて調整する

- キャビネットが壁に確実に固定されているか確認してください。
 - 通水し、配管内部の詰まり、配管接続部の水漏れ、ボウル内に汚れのないことを確認してください。
 - 商品についた汚れ(プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む)は、ぬれた布をかたくしぼってふき取ってください。
- その後、水を湿らせた布に少量の中性洗剤を付けてふき上げ、最後にからぶきしてください。

重要

※有機溶剤(シンナー・アセトンなど)の使用は表面の変色・変質の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

- 直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどで遮ってください。
- 扉や前板に傷つき防止用保護シートが貼られている場合は、シートをはがしてください。

10) 寒冷地タイプの水抜き

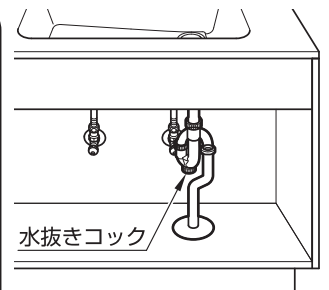
- 水栓・「きれい除菌水」生成器の水抜きは、専用の施工説明書を参照ください。

⚠ 注意



必ず実行

- 凍結のおそれがある時期に取り付けされた場合は、別途設備された水抜き栓の操作と併せて、次の要領で水抜きをするお客様にも水抜き方法をご指導ください。
- 水抜きコックは工具は使用せず手で確実に締め付ける
水漏れの原因になります。



【排水トラップの水抜き】

- ① 水を受ける容器を置き、排水トラップの水抜きコックを開けてください。
- ② 水抜き後は、必ず水抜きコックを手締めで確実に閉じてください。
ハンドシャワーを元の位置にもどしたあと、水抜きトレイを元の位置にもどす

